



人権の花運動閉校式を行いました

人権の花運動でひまわりを育てた野神小学校と安楽小学校で閉校式が行われ、取組に対して感謝状が贈られました。

11月6日に野神小、11月29日に安楽小で閉校式が行われ、法務局、人権擁護委員から感謝状と記念品が贈られました。安楽小学校では、児童を代表して6年生の谷口夢空さんが「花を大切に育てました。成長がとても嬉しかったです。これからも人権を大切にしたいです」とあいさつしました。

カサゴの稚魚を放流しました

志布志港工事連絡協議会が志布志港本地区の志布志漁協前でカサゴの稚魚を放流しました。

11月30日、志布志港で工事を行っている㈱植村組とみらい建設工業㈱が地域の工事協力に感謝し、子ども達に港に関心を持って欲しいと実施しました。招待された志布志小学校5年生の児童は「大きくなってね」など声をかけながら、体長約9cmのカサゴの稚魚約2,650匹をバケツで放流しました。



税の作文で国税庁長官賞を受賞

有明中1年の川畑太一朗さんの作文「豊かな暮らしを支える税」が国税庁長官賞を受賞しました。

11月28日、有明中学校で大隅税務署長から表彰状と記念品が伝達されました。川畑さんは、自身が野球部で使っているグラウンドが税金で整備されていることへの感謝の気持ちを作文にし、今年度全国の中学生から応募のあった615,967編の作文の中から大隅税務署管内では初となる同賞を受賞しました。

田之浦夜神楽で神舞を奉納

田之浦神楽保存会（井久保修二会長）の皆さんが田之浦山宮神社に伝わる神舞を奉納しました。

11月25日、志布志町田之浦の田之浦ふるさと交流館で夜神楽が行われ、同保存会の会員のほか田之浦地区の小、中学生が舞い手を務め、23段の神舞が奉納されました。

夜神楽は、毎年2月のダゴ祭りだけでは全ての舞を奉納できないとして隔年開催されています。



農山漁村女性活動功労表彰を受賞

又木智子さん（志布志町帖）が農山漁村女性活動功労表彰の組織活動部門で県知事から表彰されました。

11月21日、鹿児島県庁で開催された平成29年度農山漁村パートナーシップ推進研修会で表彰式が行われました。又木さんは、昭和49年から生活研究グループ活動等に参加し、長年にわたり農山漁村での女性の経営参画や組織活動の推進に尽力されていることが評価され、今回の受賞となりました。



新しい研修ハウスが完成しました

市農業公社が行う施設ビーマンの研修用ビニールハウスが松山町尾野見地区に完成し、竣工・落成式が行われました。

11月25日、市長、市議会議長のほか森山衆議院議員、尾辻参議院議員、県農政部技術次長等が出席し、竣工式、落成式、交流会が行われました。

同施設の完成により、これまで研修が行われてきた志布志町内之倉の施設と合わせて、受け入れられる研修生が10名から22名に増えることになります。

14万球の光が公園を彩ります

志布志市商工会青年部の皆さんが鉄道記念公園（志布志町志布志）を14万球の電球で飾りつけました。

12月2日の点灯式では、点灯カウントダウンが行われ、一斉に点灯すると来場者からは歓声が上がりました。また、打ち上げ花火やぜんざいの無料振る舞い、バンド演奏なども行われ、多くの来場者が志布志の冬の風物詩を楽しみました。イルミネーションは来年1月8日まで点灯されます。



自衛官の再就職への協力に感謝状

志布志東洋埠頭株式会社（地曳高士代表取締役社長）の退職自衛官の雇用に対して感謝状が贈られました。

11月27日、地曳社長が市長室を訪れ、自衛隊鹿児島地方協力本部長から感謝状が贈られたことを報告しました。

同社は、平成27年度以降に定年退職した自衛官3名、それ以前を含めると5名の再就職先として雇用しています。

